

～ ハンセン病問題を通してみる 「排除・隔離」の歴史 ～

ハンセン病問題とは、ハンセン病にかかった人たちに対して国が隔離対策をしたことにより生じた問題です。平穩に生活することを妨げられ、家族にまで及んだ偏見や差別の目がどれほどの苦痛を強いてきたのか。その歴史についてハンセン病市民学会事務局次長の原田恵子さんをお招きしてご講演いただきます。

ハンセン病についてあまり知らないという方にも是非聞いていただきたい内容となっております。皆様のご参加お待ちしております。

講 師

原田恵子さん

〈ハンセン病市民学会事務局次長〉

出版社勤務を経て2004年、ハンセン病回復者支援センターの設立に参画。以後同センターでコーディネーターを務める。2016年よりハンセン病市民学会で現職。市民団体「福祉運動 みどりの風」でも活動。

9/29 月 13:30～15:00

会 場 地域総合センター塚口 3階 集会室

申込 9月1日(月)よりお電話または
FAX、センター窓口にて受付

定員
60名

